（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズスペースぶらーぼ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	１８名	（回答者数）	１6名
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	６名	（回答者数）	６名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	はじめの一歩を応援する場作り	・子供たちのはじめてを応援できるよう、日ごろから敷地内に隣接している敷地内にある事業所同士でお互いに協力し合える体制を作っている。 ・スポーツ教室、サッカースクール、音遊び、室内での活動を含め、時には子供たちに応じてメニューを変更し、柔軟に実施している。 ・公共の施設や外活動等子供たちが楽しめる活動を取り入れている。	子供たちそれぞれの成長を見守りながら、一人ひとりに寄り添った支援を提供していく。
2	身近な地域で福祉サービスが受けられる環境作り	子供たちが地域で過ごしやすくなるよう、幼稚園、保育所等との連携に力を入れている。	
3	定期的な会議を開催	支援内容、お子様の情報、ヒヤリハット等の共有を図る機会を設けている。	一人ひとりの言葉で意見がしやすいよう、環境も含め、工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域での利用を希望する声があっても、ご家族からの希望に沿った受け入れが難しい事がある。	法人内で移行する子供たちが一定数利用する年度は、定員に空き生まれにくい為、地域での利用を希望する声に答える事が難しい。	その都度、ご見学やご相談に対応していく。
2	地域との連携	引越して間もないことや一部地域住民の方の事業の理解が得られないことなどから、当初から目指している地域と連携した活動はまだ達成できていない。	これからも地域住民の理解を得られるよう努力しつつ、実現に向けて模索していく。
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズスペースぷらーぼ

公表日 令和7年3月24日

利用児童数 18　　回収数 16

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				必要に応じ、部屋の使い分けが出来ており、空間が仕切られている。	引き続き努力していきたいと思います。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				課題となる事に取り組んでいる。	引き続き努力していきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	16					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				その時の課題を明確にし、活動の計画が作られている。	引き続き努力していきたいと思います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15			1	・迷路や文字の練習などもしており、サッカースクールでも少しずつ課題が変化している。 ・色々な場所で活動したり経験させてもらっている。	引き続き努力していきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7		1	8		引き続き、さまざまな活動を通して、地域の皆さまとの交流に繋げていけるよう、ご提案させていただきたいと思います。
保護者への説明	12		16					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16				定期的に案内を頂いている。	引き続き努力していきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4		2	10	・保護者間の交流はない。	保護者会自体はありませんが、今後も保護者様同士が気軽に繋がり合える場所として、勉強会や交流の機会を作っていきたいと思います。

明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	2		1	SNSの活動内容の発信などはわからない。	お子さんの活動については、個人情報のご同意書に基づき、ホームページ、フェイスブック等にて発信させていただいております。また、業務に関する情報等においても、ホームページにて掲載させていただいております。引き続き、努力して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			5		マニュアルの内容においては、いつでも閲覧が可能となっております。なお、ホームページにおいても掲載させていただいております。ご不明な点がありましたら、お気軽にお声掛けください。引き続き、徹底して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		6		年に２回、地震や火災などの想定をしながら、避難訓練を実施しております。今後も、より実践的な訓練に繋げていけるよう、努力して参ります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	15	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2		4	・事故やけがをしたことがないため、分からないが、速やかに対応してくれると思う。 ・怪我が続いたため、本人の特性を理解して、対応して欲しい。	緊急な対応が必要となった際には、お子様への手当の状況、起こった際の状況の把握に努め、保護者様へ即時、ご連絡、ご説明をさせていただいております。また、緊急時対応マニュアルに沿って対応させていただいております。保護者様からのご意見を真摯に受け止め、引き続き、お子様が安心、安全に過ごせるよう、徹底して参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	16				・先生達のことが大好きで、ぷらーぼという場所も「行きたくない」と言うことなく、安心して通所している。	引き続き努力していきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			・毎回にこにこで通っています。お友達とも会うのを楽しみにしています。 ・長く通所していても、通所を楽しみにしている。	引き続き努力していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16					引き続き努力していきたいと思います。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	キッズスペースぶらーぼ

公表日 令和7年3月24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・パーテーションを使用し、個別エリアの確保が出来る。 ・手狭と感じるスペースもあるが、ぴこやからころ、地域の資源である公民館を活用し、大いに工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		一対一での支援が可能な人員配置になっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		都度、お子さんの様子を見ながら話し合い、検討している。 構造化をして環境設定をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		感染症が流行している時期は、特に消毒、清掃の感染対策を行っている。 空気清浄機等も活用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6		部屋の仕切り戸を生かし、必要に応じて個別の空間が確保できる環境になっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		事業所全体での会議で共有している。 半年に一回職員面談を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事業所内の会議にて、議題を共有する時間を設け、職員同士で意見を出し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		第三者機関への外部評価は実施していない。 今後必要に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・全体会議等で定期的に内部研修を行っている。 ・非常勤勤務であっても資料を閲覧し、資質の向上に努めている。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6		ホームページに掲載されており、職員間で共有している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・ご家族の目標に伴い、計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		共通理解の下、計画作成の会議を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の職員会議で、アセスメント内容を共有、確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎日の朝のミーティングにて、支援内容を提案、共有している。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・その日のお子さんの様子に合わせた支援内容を考え、提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前に、申し送りをし、活動の流れを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	1	・運動プログラムが終わった後に全事業所が片付けに加わってくれるため、スムーズに終わることが出来、振り返りの時間が取れるようになっている。	引き続き、職員同士で確認していく時間を確保していけるよう、努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録に「今後の共有」事項を設け、次回の支援に繋げたい、気にかけたい内容を記入し、共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者や担当職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		スポーツ教室、サッカースクールを通して交流を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡帳等にて、お子さんの様子を伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		ペアレントプログラムを実施している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・必要に時は、面談等にて相談を受け、話しを伺っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・保護者会は開催していないが、スクールや、プログラム、行事等を通しての交流がある。	保護者会自体はないが、今後も保護者様同士が気軽に繋がり合える場所として、勉強会や交流の機会を作っていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		社内限定ネットワーク導入で徹底した管理がされている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		ご家庭と共通で使える視覚情報の活用等を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		ご家族から内服薬の内容が書かれているものがある際には、許可を頂き、職員間で共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		該当児童なし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		各事業所内で共有、報告し、職員全員参加の全体の会議でも行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		6	虐待防止委員にて身体拘束についての内容は共有しているが、現在、該当児童なし。	